

はじめに

草津市都市計画マスタープランは、本市の都市計画に関する基本的な方針として、都市づくりにおける理念や目標を定め、土地利用等の方針を示すものであります。これまで、平成 18(2006)年 3 月に策定した草津市都市計画マスタープランに基づき、「ゆとりと活力ある生活実感都市 草津」を基本テーマとして、豊かな生活を実感できる都市基盤整備や草津らしい都市づくりを推進してまいりました。

この間、わが国におきましては、人口減少と少子高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症の流行等により、社会情勢が大きく変化しています。本市は、現在も人口増加を続ける全国的にも極めて稀な都市であります。将来的には人口減少局面を迎えること、また、地域によってはすでに人口減少や少子高齢化が進んでいることから、社会情勢に対応しながら、将来を見据えた持続可能な都市づくりを推進する必要があります。

こうした状況を踏まえ、この度、令和 22(2040)年を目標年次とする新たな草津市都市計画マスタープランを策定いたしました。

策定にあたっては、本市の現状を的確に捉えた方針を定めるため、市民アンケート調査や、ワークショップ形式での地域別市民会議を実施させていただき、市民の皆様から御意見をいただきながら、内容の検討を進めてまいりました。

本計画では、「市民とともに育み 次世代へつなぐ 利便性と豊かさのある 健幸な都市 草津」を都市づくりの理念として、将来にわたる人口減少局面においても、生活利便性が確保された「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市構造の中で、誰もが心豊かな生活を送ることを通じて、健やかで幸せを感じられる“健幸”な都市を目指してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重な御意見や御提案をいただきました「草津市都市計画マスタープラン策定委員会」の委員の皆様や地域別市民会議に御参加いただいた皆様をはじめ、多くの方々に感謝申し上げますとともに、今後の本市における都市づくりの推進に向けて、更なる御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

令和 4 年 1 月

草津市長 橋 川 渉



草津市都市計画マスタープラン

目 次

第1章 計画の前提	1
1-1 計画策定の背景と目的	2
1-2 計画の位置付け	3
1-3 計画策定にあたっての視点	4
1-4 計画の目標年次	4
1-5 計画の構成	5
第2章 本市の現状と課題	7
2-1 本市の現状	8
1. 位置・地勢	8
2. 人口動向	9
3. 土地利用	10
4. 交通体系	11
5. 都市基盤・都市施設	12
6. 産業	13
7. 自然災害	14
8. 文化・歴史	15
9. 都市経営	16
2-2 計画策定にあたり考慮すべき社会潮流	17
2-3 市民意向	19
1. 市民アンケート調査	19
2. 地域別市民会議	22
2-4 都市づくりで重視すべき課題	23

第3章 全体構想 25

3-1	都市づくりの理念	26
3-2	都市づくりの目標	27
3-3	将来の都市構造	28
	1. 都市形成フレーム	28
	2. 将来都市構造図	30
3-4	分野別方針	42
	1. 土地利用の方針	43
	2. 道路・交通の方針	46
	3. 公園・緑地の方針	49
	4. 安全・安心の方針	52
	5. 景観の方針	55
	6. 住宅・住環境の方針	57

第4章 地域別構想 61

4-1	地域別構想について	62
4-2	地域別構想	64
	1. 西部湖岸地域	64
	2. 北部中心核地域	78
	3. 南部中心核地域	91
	4. 東部丘陵地域	105

第5章 計画の実現に向けて 119

5-1	多様な主体による都市づくり体制の構築	120
5-2	目標の達成に向けた取組	121
5-3	SDGs の推進による持続可能な都市づくり	121
5-4	進行管理と見直し	122

参考資料 参-1

参考-1	地域別の市民意向	参-2
参考-2	策定経緯	参-29
参考-3	草津市都市計画マスタープラン策定委員会 委員名簿	参-29
参考-4	用語解説	参-30